

稻城市議会  
会派

# 起風会

き ふう かい

地域活動で汗をかき、現場から地域を変える「現場主義」+ 実現可能な解決策を提案し、実行に奔走する「現実主義」



建設環境委員会視察・愛知県あま市観光協会

提案から7年、  
(仮)稻城市観光協会

誠

先日の平成30年第1回定期例会2日目に、建設環境委員会一丸で取り組んで来た

〔仮称〕稻城市観光協会



熊本地震から復興する豊城町

の議員不祥事により、小池  
都民ファーバが地滑り的に大勝。  
クの負担見直しなどが争点  
になる中、「違うだろ!」等

リソース・パラリンピックの  
市場の移転問題や東京オ  
リンピック・パラリンピッ

政治とは何か  
改めて考えた1年

中

そして10月の衆院選では、  
耳ざわりの良い公約では  
で敵失による自公の大勝。

なく、実現性のある政策を  
掲げるべきと考えますが、

「風」を味方につければ大勝、  
失えば大敗と、選挙の怖さ

をひしひしと感じました。

私自身は「住民目線」を  
主眼としつつも、実現可能

な解決策を最優先してお  
り、住民要望であっても、

法的根拠が無ければNOと  
言い、表立つて発言できな  
い方の「声なき声」にも耳

を傾けてきたと思います。  
3月議会では、議員報酬

決して私利私欲のために議  
員をやっているわけでは  
ありませんが、実体験上、会

報酬額は都下49市区内で最  
低水準であり、議員のなり  
手不足の一因ともなってい  
る現状を踏まえ、止む無し

と判断。

「選挙戦略」を考慮すれば  
反対すべきでしたが、将来

のこと、市全体のことの大  
局的に考え、一步でも現状

が改善する案を選ぶ「着眼  
大局、着手小局」を念頭に

判断させていただきました。

て「稻城情報発信基地ペア  
テラス」を建設・開所する  
にまでこぎつけました。

私自身、同案件に表裏両  
面で深く携わってきました  
が、平成30年度予算にはつ  
まり、一部反対があつたも  
のに観光協会設立が盛り込  
まれ、一部反対があつたも  
のの審議可決されました。

この足掛け7年間を振り  
返ると多くの皆様のご努力  
に対する敬意と感謝が溢れ  
返ります。

この足掛け7年間を振り  
返ります。感謝一入ですが、ゴールで  
はなく、やっとスタート地  
点に立てたという認識。

今後、さらに市民の皆様  
の声を集約し、より良い方  
向へと邁進して参ります。

の設立に向けた提言を担当  
委員会の委員長として発表  
させていただきました!

初当選年の平成23年第4  
回定期例会一般質問にて稻城  
市の課題の1つである知名  
度やブランド力の構築、交  
流人口確保等のために観光  
協会が必要であると提案。  
それを皮切りに、青年会  
議所主催での観光提案大会  
を開催して、行政に市民の  
考え方をまとめて提出。  
対する行政組織としても  
これまでの経済課を「経済観光  
課」へ変更、民間力を取り  
入れた観光担当課長を新  
設、一昨年には受け皿とし  
向へと邁進して参ります。



濁流で倒壊した家屋(日田市大鶴地区)、避難所陣営指揮を執った地元市議と対談  
平成29年7月九州北部豪雨発生、日田市観光計画の視察予定を災害対応・避難所視察に急遽変更。地元議員が災害時に何をすべきか、再考させられました。

◆議員番号14番、鈴木誠 すずきまこと(35歳)

法政大卒→現(株)リクルートコミュニケーションズ(旧(株)RMC)。結婚を機に幼少期を過ごした平尾の地へ。

平成23年、史上最年少で稻城市議会議員初当選、現在2期目。昭和57年5月生、妻子(娘3人)、親世帯、愛犬1匹と「昔ながらの大家族暮らし」を実践中。

【役職・資格等】・稻城市議会議員(二期・現職最年少)・同建設環境委員会委員長・東京都三市収益事業組合議会議員・稻城市消防団第六分団副分団長・稻城青年会議所第41代理事長・稻城市バドミントン連盟(市男子代表選手)・稻城まちかど楽友会理事・稻城楽しく第九を歌う合唱団副实行委員長・クリチナいなぎ理事・杉山神社奉賛会理事・平尾宅地分譲自治会事務局長・平尾宅地分譲自主防災組織本部統括委員・日本防災士機構認定防災士・日本赤十字社救急法救急員・関東総合通信局陸上特殊無線技士・法政経友会員・林英臣政經塾塾主(第9期・広報担当官)、他



[www.inagi.info](http://www.inagi.info)



第79回全国都市問題会議 in 沖縄県那覇市にて  
平成29年11月、那覇市で開催された「全国都市問題会議」に参加。  
地域活性化に向けた様々な取り組みについて学ばせていただきました。

◆議員番号13番、中田中 なかたあたる(48歳)

都立科学技術大(現首都大)卒→日本HP、日本IBM。第2子誕生を機に自然・教育環境の充実した稻城市に惚れ込み転居。若葉台ワルツの杜在住。平成20年に稻城市教育委員、平成23年に稻城市議会議員初当選、現在2期目。昭和44年6月生まれB型、妻子(息子1娘1)愛犬1匹と同居。得意のICTを活用した教育・市政運営を提案中!

【役職・資格等】・稻城市議会議員(二期)・同福祉文教委員・稻城市土地開発公社評議員・青少年育成若葉台地区委員会地区委員・若葉台体育振興会会員・若葉台夏祭り実行委員会委員・若葉台防災協議会事務局・若葉台ワルツの杜自主防災組織本部長・若葉台ワルツの杜防火管理者・若葉台ワルツの杜自治会役員・日本防災士機構認定防災士、他



[www.ataru-nakata.com](http://www.ataru-nakata.com)

